

主体的・
対話的で
深い学び

授業実践

英語

アウトプット活動を軸に
認知負荷を上げ、4技能を鍛える



山形県立東桜学館中学校・高校

山口和彦 やまぐち・かずひこ



同校に赴任して6年目。
研究課国際交流主任。英語科主任。

学校概要

◎設立 2016 (平成 28) 年 ◎形態 全日制 / 普通科 / 共学 ◎生徒数 1 学年約 200 人 (高校)

◎2022 年度卒業生進路実績 国公立大は、東北大、山形大、東京工業大、東京大、一橋大、新潟大、神戸大などに 77 人が合格。私立大は、東北学院大、東北福祉大、東北芸術工科大、上智大、東京理科大、早稲田大などに延べ 136 人が合格。

私が
目指している
授業

コミュニケーションでは、反応や理解の速さが重要です。そこで、授業では、アウトプットやインタビューを英語でたくさん行い、認知負荷を上げて緊張感を高め、生徒の英語4技能を鍛えています。私は高校時代、英語の成績は上位でしたが、大学の英米文学科に入学すると、スピーキングやリスニングが劣っており、悔しい思いをしました。自分と同じ思いを生徒たちにはさせまいと、教師となり、大学で学んだコミュニカティブアプローチの授業を目指しましたが、当時の大学入試は長文読解が中心。生徒の要望もあり、講義型授業をしました。しかし、それでは真の英語力は身につかないと考え、夜間主の大学院に通って指導理論を学び直し、現在の授業スタイルを築きました。

授業レポート

本時の概要

[対象] 3年生 [教科・科目] 英語・コミュニケーション英語Ⅲ
[単元] Lesson 6 The True Cost of Fast Fashion & Lesson10 Human BUYology
[単元目標] ファスト・ファッションの問題と販売戦略を理解した上で、
新商品と販売戦略を考案する
[授業時数] 全8時間のうちの5時間目



単元の指導計画は、ウェブサイト『VIEW next ONLINE』でご覧いただけます。<https://view-next.benesse.jp/view/cat/bkn-hs/>または右の2次元コードからアクセスしてください。



ウェブサイトVIEWnext ONLINEでは、
授業のダイジェストを動画で紹介!



お勧めの
分掌

管理職

教務担当

進路担当

担任

1 ペアで語彙のテスト 5分間



毎時間行っている帯活動として、1分間、各自で単語集を復習した後、ペアで語彙の問題を出し合った。全ページが終わり、2周目に入っているため、単語に加えて、熟語や例文から問題を出し合うペアもいた。山口先生は、生徒が緊張感を保てるよう、活動ごとにペアを替えている。本時は計6回替えた。

2 音読が正しいかペアで確認 5分間



前時に学んだレッスン10の Paragraph 5を、生徒は音読した後、スクリーンに映し出された空所のある英文を見ながら音読。次に、ペアとなり、相手が空所を正しく補って音読しているか確認する活動を、ペアを替えて2回行った。どの生徒もスクリーンを食い入るように見て、大きな声で音読していた。

3 段落ごとに読解・音読 37分間



レッスン10の Paragraph 6～10の読解と音読に、Paragraphごとに取り組んだ。文法・語彙に関して注意してほしい箇所や、英文の意味が理解しにくい箇所などは、山口先生が生徒に問いかけ、答えを引き出しながら確認。また、リピーティングや空所を補いながらの音読を、各Paragraphで3～4回ずつ行った。

4 ペアでリテリング 8分間



本時のキー課題
レッスン6と10の内容を活用するリテリングの課題「服を買い過ぎて後悔している友人を、2つの素材文の内容を踏まえて慰める、または批判する」に取り組んだ。自分の考えを英語で2分間でまとめ、ペアで伝え合った。最後に山口先生が、次時から取り組む単元末のパフォーマンス課題を発表した。

発問や課題の観点



単元末に、
学んだ英語と内容を活用する
パフォーマンス課題を実施

知識は、多面的な視点で理解し、活用してこそ、自分のものになります。授業では、生徒が素材文の趣旨を理解し、自分の考えを持てるよう、インテイクしたものをアウトプットする課題を複数回設けています。

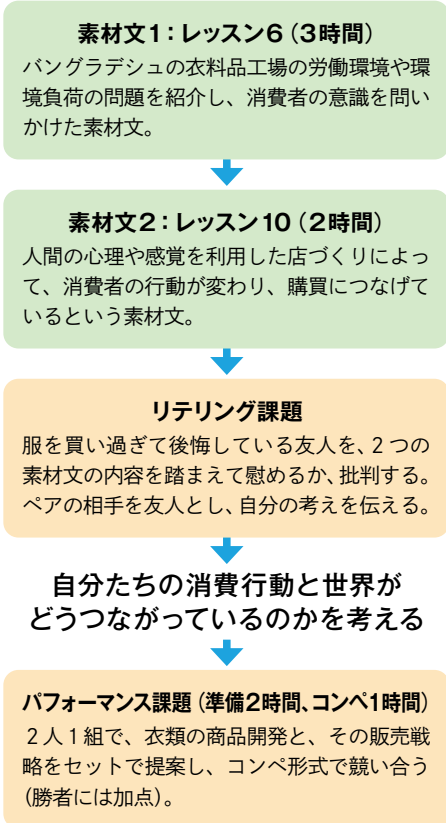
本時は、服を買い過ぎて後悔している友人に、2つの素材文の内容を踏まえて英語で自分の意見を述べる、リテリングの課題を出しました(図1)。ある生徒は、「お店の戦略で服

を買ってしまったのは仕方がないよ。でも、せっかく買ったのだから、できるだけ長く着ることが大切だね」と、学んだことを生かして、ペアの相手を英語で慰めていました。

単元末には、単元で学んだ英語と内容の両方を活用するパフォーマンス課題を行います。本単元では、衣類の商品開発と、その販売戦略の提案をチームで競い合われます(図1)。

高かったため、両方を合わせて1単元として年間計画に組み込みました。そうすることで、生徒は多面的な視点で課題に取り組めますし、限られた授業時数内でパフォーマンス課題を行うことを可能にします。

図1 パフォーマンス課題に向けた流れ



※学校資料を基に編集部で作成。

学習評価の工夫



生徒の相互評価は
自信や次の学習動機
につながる

単元末のパフォーマンス課題は年8回程度行い、配点は定期考査の2〜3割としています。今年度の3年次は、5〜6回の予定です。

本単元のパフォーマンス課題は、2つのチームが、それぞれ衣類の商品開発とその販売戦略をセットで提案し、どちらが優れているかを他の生徒が評価して勝敗を決めるコンペ形式にします。私もフィードバックしますが、生徒同士の評価の方が、生徒にとって影響が大きいようです。

自分の考えが同級生に認められることは大きな自信につながり、次の学習への動機づけになります。

1年次から授業にはコンペ形式やデイベートの課題を取り入れ、他者評価も行っています。生徒に発表やデイベートの評価をさせた後、私から、「ここが論理的だった」「この表現は別の言い方が適切ではないか」などと、よい点と課題がある点を具

図2 2022年度2年次 パフォーマンス課題(抜粋)

	LESSONS	FINAL TASKS
1	The Power of Empathy	Pair Skit: "Empathy"
2	Come and Visit the Park in the Sky	Presentation Battle (3 in 1 team): Problems and Solutions
3	A Window to Ancient Earth	Solo Presentation: the Field I want to study in the future.
4	Bonsai Goes Global	Solo Debate in PDA Style: apanese culture is an introverted and insular culture, compared with other cultures.
5	Taking the Sting Out of Jellyfish	Solo Presentation: Amazing Creature (Whales/Birds/ Insects)
6	Does It Spark Joy?	Writing: Short Speech to Explain the Charms of KonMari Method.

※学校資料を基に編集部で作成。

体的に挙げて評価します。すると生徒は私の評価を聞いて、自分の評価との違いを認識し、評価の視点や基準を学んでいきます。

そうしたことを繰り返していくと、生徒は、2年次には私から見ても妥当だと思える他者評価ができるようになります。3年次の今では、より適切な評価ができるようになってきたため、生徒による評価を学習評価の材料の1つにしています。



生徒の活動の質を高める授業づくり

認知心理学を踏まえた第2言語習得研究について学んだ際、認知負荷を上げたり、学んだことを利用したりすると、記憶の定着度が高まることを知りました。そこで、生徒が英語を「聞く、話す、読む、書く」活動をできるだけ多く行えるよう、課題設定のほかに、次のような工夫を授業でしています。本時のように、文法事項を学び、読解をする授業でも、生徒は常に英語を聞き、何度も音読をする場面を設けて、生徒が緊張感を持って集中して取り組み、英語を使いながら習得できるようにしています。

予習プリント

Comprehension

1) What is the main idea of the 1st paragraph?

① You must have undergone a shopping where you hadn't intended to buy anything but only to chase goods.

② Long before you go to a mall, the aggressive selling is around you.

③ Advertisers use subliminal messaging to make us buy their products.

2) What is the main idea of the 2nd paragraph?

① Because you are already affected by advertisements, it is likely that you will buy the products you see.

② In addition to advertisements, there are many ways that the shops in the mall keep you shopping.

③ The layouts in the mall are so confusing that you will be staying in the mall for so long.

3) Suggest some place, fruit and vegetables at the front because I am hungry.

予習プリントでは、素材文の内容に関する3択の問題を、パラグラフごとに出しています。授業では、各問題の解答を確認し、読解のポイントを解説しています。 ※学校資料を抜粋して掲載。

立っている生徒が見ているスクリーン

立っている生徒は、スクリーンに投影された空所のある英文を見ながら音読



座っている生徒は、ペアの生徒の音読が合っているか、教科書を見ながら確認

- **予習で素材文を読解、授業では重要事項の確認に集中**

素材文の内容を確認する予習プリント（左図）を課しています。

- **素材文や課題はスクリーンで提示**

ICTを活用し、板書はしていません。生徒もノートを取ることはなく、自分にとって重要な事項を予習プリントに書き込みます。

- **説明では日本語も使用**

3年次には、素材文の内容が抽象的になり、日本語に訳しづらい部分も出てきます。そうした時は、生徒が理解しやすいように、日本語で説明します。素材文の内容を十分理解すると、音読も意味を考えながらすることができるようになります。

- **1年次からペアでの音読活動を取り入れる**

1年次からペアで音読をし、相手の音読が正しいかどうかを確認する活動を行っています（左写真）。その際、「自信がなくてもごまかさず、相手に聞こえるように発音しよう」と、何度も伝えます。そして、相手の英語が聞こえなかった時はきちんと指摘し、相手が言葉に詰まったら該当箇所を読み上げるなどのフォローをするよう、指導しています。その積み重ねによって、生徒は堂々と英語を話せるようになっていきます。

成果と展望

研究や仕事でも

誤解なくやり取りできるような

英語の正確性を上げる



1年次から私の授業を受けてきた生徒は、3年次になっても大きな声で英語を話し、英語の聴き取りも難なくできるようになります。1分間に読める単語数は、1年次に98・5語まで引き上げ、3年次には上位層で160語になります。英語4技能検定「GTEC」の4技能のスコアがバランスよくアップしていることも、成果の1つです。

今後の目標は、スピーキングの正確性を上げることです。例えば、受動態や能動態といった「態」の用法を苦手とする生徒がいますが、研究や仕事でのやり取りで誤解が生じないようにするには、英語の正確性が重要です。その向上のために、定期考査などでの苦手分野に関する出題を通して、その重要性を発信し、生徒が正確性を意識して英語を話すことができるようにしたいと考えています。

お勧めの分掌

管理職

教務担当

進路担当

担任